

# 令和4年度 マイスター・ハイスクール事業中間成果発表会

10:30～11:05 発表4校のテーマ・概要 (1/2)

## A 滋賀県立彦根工業高等学校

テーマ「変化への挑戦 (Challenge for Change)」

本校は令和3年度より、管理機関及び各関係機関と連携し、企業や大学の先端技術に触れたり伝統的な技術を習得したりすることで地域産業を支える人材を育成するとともに、地域の活性化に貢献することを目指しています。

発表では令和4年度の取り組み（**近江マイスター、カンパニー制、ブラッシュアップ実習、ブラッシュアップ英語、長期インターンシップ**等）について、また令和5年度の計画について報告します。

**彦根市×彦根商工会議所×滋賀県教育委員会**

## B 北海道静内農業高等学校

テーマ

「地域発次世代イノベーター人材の育成～持続可能な日高農業の創り手～」

本校が所在する日高地方は日本の食糧供給地域である北海道中央南西部に位置し、日本最大の馬産地であると同時に施設園芸の盛んな地域です。地域産業の持続的発展をけん引できる人材の確保が求められる中で、本校は、農業を支える人材を総合的に育成している高校として、**食品、園芸、馬事**と学科やコースの編成に合わせて事業を進めております。今回は、**地域の産業界(JAやJRA等)**や**自治体(新ひだか町や北海道知事部局等)**と協働で人材育成を図り、**地域創生につながる事業とすることをねらいとした本校の取組等**について発表いたします。

**新ひだか町×JAしずない×北海道教育委員会**

# 令和4年度 マイスター・ハイスクール事業中間成果発表会

10:30～11:05 発表4校のテーマ・概要 (2/2)

## C 福井県立若狭高等学校

テーマ「若狭地域のWell-beingを実現するために地域水産業の成長産業化に貢献できる人材育成のための水産海洋教育カリキュラム開発」

マイスター・ハイスクール事業の指定校となって2年目を迎えたある日、生徒に聞いてみた。「マイスター・ハイスクール事業ってどんな取り組みか説明できる？」生徒は、「う～ん・・・」その時、ハッとした。本事業は、生徒のために取り組んでいるはずなのに、生徒はその内容を把握していない。そこで、**生徒主体の事業**にするために、**運営・推進委員会**に2学年生徒全員が参加し、委員の方々と一緒に議論した。

**福井県教育委員会**

## D 埼玉県立大宮工業高等学校

テーマ「新たな社会を支える次世代マイスターの育成」

6月上旬に開催した運営委員会及び推進委員会を経て、マイスター・ハイスクールCEOのマネジメントのもと事業がスタートした。

これまでに、**産業実務家教員との協働による課題研究及び教員研修、中高大連携によるSTEM教育プログラムの開発、工業科・普通科連携キャリア教育プログラムの開発等**に取り組んできた。

今後、産業実務家教員による授業を計画実施するほか、産学官連携による組織の構築及び来年度の計画を進める予定である。

**埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課**

# 令和4年度 マイスター・ハイスクール事業中間成果発表会

11:07~11:42 発表4校のテーマ・概要 (1/2)

## A 福島県立小高産業技術高等学校

テーマ「ふくしまの未来を創るテクノロジスト育成事業」

震災・原発事故からの地域復興・創生を担う人材育成のために、各科の特色を生かした先進的な学習プログラムづくりに取り組んでいる。生徒への意識づけはできたが、同時にふくしまの未来を自分達が担えるものなのか葛藤する場面も見られた。今後は、生徒がより主体的に挑戦・創造・継続することにより自己の能力を磨き、協働しながら学習できるよう事業を継続、発展させていく。

福島県教育委員会×福島県商工労働部×南相馬ロボット産業協議会

## B 広島県立庄原実業高等学校

テーマ「地域の未来社会実装型農業をデザインするアグリビジネスプレイヤーの創出」

昨年度は、「庄原ひとづくりコンソーシアム」を立ち上げ、地域の将来像から逆算し、目指す生徒の姿を共同で描いた。そのような生徒を育成するための方法と産学官の関わり方等について「マイスターハイスクールビジョン」に示し、カリキュラムの刷新と持続可能な体制作りを取組の柱として進めてきた。今回は、「産学官一体型の学習プログラム」の内容と、その取組を通じた生徒の姿、そのような教育活動を支援するCEO、産業実務家教員をはじめとする「庄原ひとづくりコンソーシアム」の関わり方等を中心に発表する。

庄原市×庄原商工会議所×広島県教育委員会

# 令和4年度 マイスター・ハイスクール事業中間成果発表会

11:07～11:42 発表4校のテーマ・概要 (2/2)

## C 新潟県立海洋高等学校

テーマ「未来を担う海洋・水産プロフェッショナル人材育成システムの構築」

- (1) ICT活用における授業実習等の深化や情報発信、地域資源のブランド化、SDGsに関わる実践的な学習内容等を取入れたカリキュラム開発とその展開について。
- (2) 「新潟海洋高校アンテナショップ能水商店」を中核とした、開発商品の販売実習や市場調査等について。
- (3) アクアポニックスやD2Cビジネスの展開と、マリンスポーツの技術を活かした観光誘客イベントの準備について。
- (4) 教育内容やカリキュラムが生徒の資質・能力に与える影響について。

新潟県教育委員会×株式会社能水商店×糸魚川市

## D 静岡県立浜松城北工業高等学校

テーマ「地域産業に求められるロボティクス人材と実践報告」

マイスター・ハイスクール事業に採択されて6か月が経過しました。本発表ではマイスター・ハイスクールに関する学校の組織と役割、現状と課題について報告すると共に、運営委員会及び事業推進委員会で決定された内容、課題、実績（学校設定科目、オンライン海外インターンシップ、浜松みらい塾、やらまいか賞、ロボットアイデア甲子園等）について報告します。

ヤマハ発動機×浜松市×静岡県教員委員会

# 令和4年度 マイスター・ハイスクール事業中間成果発表会

12:45～13:20 発表4校のテーマ・概要 (1/2)

## A 宮崎県立延岡工業高等学校

テーマ「これから求められるものづくり人財（人材）とは？」

この事業を起点として、管理機関である宮崎県工業会や延岡市に上記のテーマについて、さまざまな意見をいただいた。その中でも新しい技術・専門力だけでなく、既存の技能・職人技との双方が必要であり、そのバランスが重要であるとの見解を得た。このバランスを重視しつつ、「ワクワクするものづくり」という、企業も学校もそして、社会全体が必要としているものづくりの原点を探しにいきたいと考えている。

宮崎県教育委員会×一般社団法人宮崎県工業会×延岡市

## B 山梨県立農林高等学校

テーマ「山梨ワイン発展のための協働と若手技術者の育成」

山梨県の特産品の一つである「ワイン」を教材の中心に据え、食品科学科を中心に学校全体で事業に取り組む様子を発表する。ワイン醸造では多品種の仕込みや品質管理の向上、また甲斐市や甲斐市商工会と連携し、流通・販売にも力を入れた。事業に取り組む生徒の学習評価には、ルーブリック評価を採用。メタ認知能力の向上を図るとともに、山梨ワイナリー協会へ本事業の取組について周知し、専門的な知識・技術・資質を持った生徒と地域企業とのマッチングにも努める。

甲斐市×甲斐市商工会×山梨県教育委員会



# 令和4年度 マイスター・ハイスクール事業中間成果発表会

12:45～13:20 発表4校のテーマ・概要 (2/2)

## C 岡山県立真庭高等学校

テーマ「自然・社会・人との対話で育む真庭型産業人材育成構想

—環境 (SDGs) ×アグリビジネス⇒豊かな生き方・働き方—

真庭高校は、令和4年4月から新たに「食農生産科」「経営ビジネス科」が立ち上がった。これまで培ってきたPBLや地域をフィールドとした学習展開を基軸に、自らの生き方と地域や産業の未来を重ねて考えチャレンジできる人材の育成に取り組んでいる。今回は、マイスター・ハイスクールビジョンに基づいた学習展開の紹介及び地域産業界・地域協力者との連携状況並びに、それらの成果と課題に基づいた次年度の計画について発表する。

**真庭市×銘建工業(株)×岡山県教育委員会**

## D 北海道厚岸翔洋高等学校

テーマ「地域の未来を創るマリン・イノベーターの育成～IT導入による持続可能な地域社会の創造～」

海に囲まれた北海道で、基幹産業の1つである水産業の未来を担う人材を育成するため、「水産資源の持続化」「漁家経営の持続化」「地域産業の持続化」という3つの柱を立て、今年度から取組を開始した。海の塩分や水温を測定するスマートブイを設置し、海の見える化を進める一方、組織体制や地域との連携などこれからの課題も出てきた。今回は半年間の成果と課題について報告する。

**厚岸町×厚岸漁業協同組合×北海道教育委員会**

# 令和4年度 マイスター・ハイスクール事業中間成果発表会

13:22～13:57 発表4校のテーマ・概要（1/2）

## A 熊本県立八代工業高等学校

テーマ「優れた人材や技術の「<sup>加</sup>X（融合）」を追究し、DX時代の夢をつなぐ創造的エンジニアの育成～くまもとからはじまる産業人材育成エコシステム～」

令和4年度は、「課題解決へ向けて」を年次テーマに、生徒のデジタル活用能力をさらに向上させ、主体的行動力・協働力により課題解決へ導く力の育成を目指し、産業実務家教員による約430時間の授業や年に2回の企業実習、出前授業、産業講話等を実施し、産学官が一体となった産業人材育成に取り組んでいる。また、県内工業高校への波及を図るとともに、産業界と連携して今後のカリキュラムとその内容及び指導方法の検討を行っている。

熊本県教育委員会×（一社）熊本県情報サービス産業協会×熊本県商工労働部

## B 大分県立大分東高等学校

テーマ「スマートテクノロジーの学びと実践」

魅力ある農山漁村づくりの核となる担い手を確保・育成するため、先端技術（スマート農業）を活用した実践的な授業等を行う。令和3年度に1年生への授業を実施し先端技術（スマート農業）の基礎を培った。今年度は1年生で同授業を引き続き行う。2年生では1年生での学びを活かして地域農業の課題解決などに取り組み、先端技術を使い・創れるスキルを身につけ、農業への意識転換を図る。

大分東高校×株式会社ガイナス  
×おおいたAIテクノロジーセンター×大分県教育委員会

# 令和4年度 マイスター・ハイスクール事業中間成果発表会

13:22～13:57 発表4校のテーマ・概要 (2/2)

## B 大分県立久住高原農業高等学校

テーマ「現状をより良く変えることに繋がる新たな技術とその実現に必要なデザイン思考」

アイデアの出し方や最新技術の知見を増やしつつ、生徒自らが情報を集め、考え、グループで活動することを通じて、**本校生徒によるアイデアに基づくスマート農業を活用した新たな農業の実現**を目指す。また、スマート農業のスキルを身につけることにより農業に対する意識の転換を図る。

久住高原農業高校×株式会社オートボックスセブン  
×株式会社ピースカンパニー×大分県教育委員会

## C 福井県立坂井高等学校

テーマ「学科横断型DX研究による次世代産業人材育成体制の構築」

産業社会の急速な変革を見据え、地域の企業をよりよく知るために、1・2年生に企業研修を行うとともに、「**ふくい産業**」の学校設定教科を軸としたカリキュラム開発を進める。**観光およびデザイン専門の産業実務家教員による授業や企業研修**を通じて、学校の学びが地域とどうつながるか、どう貢献できるかを考える。**企業の課題を主体的に考え、地域貢献を視野に入れた課題研究へと発展させる。**

坂井市×あわら市×福井銀行×福井県教育委員会